

## 株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、最前線で患者の治療に携わられている医療関係者をはじめとする方々、私たちが生活を営む上で必要不可欠な仕事に従事されている方々に深く感謝申し上げます。

ここに第121期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）の報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当社は、2020年5月、「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと」というパーパスを定め、2020年7月の経営方針説明では、お客様の事業の成長に貢献する「For Growth」と、お客様の事業の一層の安定に貢献する「For Stability」の2つの事業領域におけるお客様や社会への価値創造を通じたパーパスの実現を掲げました。

上記の実現に向け、「For Growth」の事業領域においては、日本が抱える多様な社会課題をデジタル技術とデータを用いて解決し、国内市場における圧倒的地位を確立すべく、2020年10月に富士通Japan株式会社を発足させ、本年4月から本格始動をしております。また、「For Stability」の事業領域においては、グループ内に分散しているソリューションの知見やノウハウ、グループ各社が持つ開発機能を当社および富士通Japan株式会社に集約し、作業の標準化による生産性の向上や、重複投資の排除等でビジネスの利益率向上を図るなど、国内ソリューション・サービスビジネスの体制の強化に向けた取り組みを行っております。加えて、デジタル時代の競争力強化を目的とした「全社DXプロジェクト」や「Work Life Shift」など、自らの変革にも取り組んでおります。

これらの取り組みは、富士通グループのさらなる成長につながるものであると確信しており、今後も継続していく所存です。

当期の業績については、新型コロナウイルス感染症の影響や前期のパソコン特需の反動、事業再編の影響により前期に比べ減収となりましたが、本業における採算性の改善や費用の効率化が大きく進んだことに加え、事業譲渡による一時利益やビジネスモデル変革費用の負担が減少したこともあり、営業利益、当期利益ともに過去最高益となりました。当期の業績の詳細につきましては、当報告書の3頁をご覧ください。

こうした実績や財務状況、今後の経営環境等を踏まえ、当期の年間配当については、2020年7月に公表した計画のとおり200円とさせていただきます。5期連続の増配であり、前期の年間配当から20円の増配となります。

2021年度も引き続きパーパスの実現に向け、お客様にご提供する価値の創造と自らの変革をより一層推進していく所存です。そして2020年7月に発表したキャピタルアロケーションポリシーのもと、今後も安定的な配当に加え、資本効率も意識した自社株式取得を積極的に行い、総還元額を拡大してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長

時田 隆仁



(注) 「パーパス」：富士通の社会における存在意義、企業活動を行っていく目的。

(注) 「全社DXプロジェクト」：製品やサービス、ビジネスモデルに加えて、業務プロセスや組織、企業文化・風土を変革するプロジェクト。

(注) 「DX」：デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術とデータを駆使して、これまでにない革新的なサービスやビジネスプロセスの変革をもたらすもの。

(注) 「Work Life Shift」：ニューノーマルな環境においても、これまで以上に高い生産性を発揮し、イノベーションを創出し続けるための新しい働き方。